

国際シンポジウム「現代中国社会の歴史淵源」

科学研究費補助金研究『『巴県档案』を中心として見た清代中国社会と訴訟・裁判—中国社会像の再検討』と京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センターとの共催、京都大学アジア研究教育ユニットの後援で、下記のような国際シンポジウムを開きますので、ご案内申し上げます。

日時：2014年2月22日（土）13時から18時30分

19時から20時30分までレセプション

2014年2月23日（日）10時から1時

場所：両日ともに京都大学百周年時計台記念館会議室Ⅲ（二階西）

プログラム：

2月22日（土）

13時 開会あいさつ

13時10分～14時20分 北京大学社会学系教授 周飛舟氏
「“農民上楼（農民のアパート集住）”と“資本下乡（農村への資本投下）”：都市化過程における政府、企業と農民」

14時20分～15時30分 京都大学名誉教授 夫馬進氏
「現代中国における人民調解（調停）制度と““訴調对接（訴訟・調停の連結）”」

10分休憩

15時40分～16時50分 中国政法大学社会学院教授 応星氏
「現代中国の上訪（直訴）：訴訟と民衆抗争のロジック」

16時50分～18時 京都大学法学研究科教授 寺田浩明氏

「現代中国“維権（権利擁護）”運動の法制史的考察」

18時から18時30分 総合討論

19時から20時30分 レセプション

2月23日（日）

10時～11時10分 南京大学歴史系教授 范金民氏

「江南農村生活の回憶」

11時10分～12時20分 京都産業大学法学部准教授 滝田豪氏
「中国のグラデーショナル型政治構造とその歴史的背景」

12時20分～12時40分 総合討論

12時40分 閉会あいさつ

なお、中国3先生の報告と討論には通訳がつきます。また席に限りがあり、ご不便をおかけする場合はおゆるしく下さい。お問い合わせはアジア研究教育センター支援室 asean6.office@bun.kyoto-u.ac.jp まで。先の広報とは、一部講師変更がありましたので、改めてご連絡申し上げます（2014年2月10日）。